

〔様式 1〕

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	15.03.20			
平成15年度	事業コード	33131	電話	042-769-8249
担当部課名	都市部	都市交通計画	課	交通計画 班
事務事業名	作の口新駅周辺交通施設整備事業			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第3章	利便性の高い公共交通網の確立をめざします	事業開始年度
基本施策名	第1節	利便性の高い公共交通網の確立	年度
施策名	第3施策	人にやさしい交通環境の整備	

2 実施根拠及び関連法令等

なし

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

投資的経費

5 事務事業の分類

市単独事業

6 受益者負担

なし

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
JR相模線の南橋本駅と上溝駅のほぼ中間に位置する作の口地区は、鉄道利用の不便地域であり、大規模工場就業者等のマイカー通勤により周辺道路は混雑している状況となっている。昭和19年に相模線の国有化に伴い廃止された作の口駅の復活に対する地元住民の要望も高く、また、相模線活性化の一助となり、多くの市民が期待している相模線複線化を図る上でも重要と考え、作の口駅設置に向けた事業を行うものである。	市民 対象数 約13,000人(駅勢圏人口)
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
「作の口駅」設置促進に関する新駅事例調査 ・JR東海道線「愛野」駅(袋井市) ・JR御殿場線「長泉なめり」駅(長泉町) ・JR向毛線「前橋大島」駅(前橋市)	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	
計画年次	年度～年度

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
成果指標								
活動指標								

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
	決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
事業費					
決算(予算)額	2,992	44	100	0	0
人員・時間数	1人・2.0日	1人・2日	1人・3日	1人・1日	1人・1日
人件費	603	60	90	30	30
その他経費					
合計	3,595	104	190	30	30
特定財源	0	0	0	0	0
対象数	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000
対象の単位あたり経費	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0

10 個別評価

(1)達成度 評価 C ▼	A:達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B:一部達成していない		・活動指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 低
	C:達成していない		・事業目標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 低
		説明	平成12年度において(仮称)作の口駅周辺交通施設基本計画を策定したが、その中では駅運営にあたり、あと2,000人の駅利用者増加がないと収支均衡には至らないという結果になったため、他の新駅等の事例を調査し、需要喚起策を検討している。
(2)必要性 評価 B ▼	A:適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B:一部適応していない		<input type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C:適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある
(3)有効性 評価 B ▼	A:有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B:一部有効でない		<input type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C:有効ではない		
		説明	作の口駅の復活は、相模線の活性化の一助となり多くの市民が期待している相模線複線化を図る上でも重要である。
(4)効率性 評価 ▼	A:優れている	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B:一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C:改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	<input type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない
		説明	現段階では調査段階にあるため、評価できない。
(5)公平性 評価 A ▼	A:公平である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B:一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C:公平でない		<input type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	鉄道不便地域の解消及び、相模線の活性化、複線化を図る上で重要である。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	説明: 現段階においては調査を行っているところであるため、成果は上がっていない。今後需要喚起策の検討を行っていくが、2,000人の駅利用者増となるものの検討には時間がかかるものと思われる。	手段	
		削減額	千円

11 総合評価

評価 B ▼	他自治体の類似事業との比較	
今後の進め方		
<input type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明
<input checked="" type="checkbox"/>	見直し	
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

--